

教科	学習課題（学校が休みの間に取り組むこと）	先生からのメッセージ
国語	① P174～179「何のために『働く』のか」を読み、働くことについて、自分の考えを400字程度で書く。 ② 「日本語探検」のページ（P28,29,56,57,150,151,）を読み、問題に取り組む。 ③ 「漢字道場」のページ（P58,59,82,83,122,123,172,173,208,209）を読み、問題に取り組む。	○感想文や答えはノートに書きましょう。 ○ノートには教科書のページや見出しを書きましよう。 ○感想文は内容の説明やあらずばかりではなく、自分の考えや経験を多く書くようにしましょう。
社会	○ 歴史的分野 教科書 P148-P159 課題①「産業革命がもたらした人類への影響とは何だろうか？」 ※産業革命についてしっかりと学習し、現代につながるプラス部分とマイナス部分について調べてみよう。 課題②「アヘン戦争前の三角貿易でイギリスが得たものは何だろうか？」 ※三角貿易の仕組みを説明できるようになろう。 課題③「ペリー来航の歴史的意義は何だろうか？」 ※ペリー来航前と後で、日本は何が変わったか確認しよう。 ○ 地理的分野 ：高校入試を意識し、最初から復習していきましょう。 ※1学年の課題に沿って学習してみよう。	○ノートに調べたことや考えたことを自由に表現してみよう。 ○参考にした資料等あったら添付してください。
数学	1 教科書をしっかり読んで、教科書P10からのQの問題を順番に解いていってみよう！！頑張って、P21までやってみよう！！	
理科	1 力のはたらき 教科書 P10-11 (1) 赤組と白組の綱引きの勝負が始まった。赤組は100Nの力で北向きに引っ張っている。 ① 赤組の引っ張る綱を <u>静止させる</u> には、白組はどの向きに何Nの力で引っ張ればよいでしょう。 ② なぜ①の向きにしたのか自分の言葉で説明しましょう。	○3年生では力や運動について学習します。休校中の間に、身の回りの力や運動はどのようなものがあるのか目を向けてみましょう。 ○2年生の時に使っていたもの、もしくは新しいノー

教科書 P12

(2) むかしむかしのこと。おじいさんがかぶの種をまきました。「大きくなあれ。」かぶはぐんぐん育ち、なんとおじいさんよりも大きくなりました。おじいさんはびっくりしましたが、かぶを抜くことにしました。「よいしょ、よいしょ…」おじいさんは水平北向きに5 Nの力を加えましたが、かぶはビクともしません。

① その様子を見て、おばあさんが助けにきてくれました。おじいさんはかぶを5 Nで、おばあさんはおじいさんを4 Nで水平方向北向きに力を加えました。それでもかぶは抜けません。この時、かぶに加わる力の大きさは何Nでしょう。

② ①の様子を見て、孫が助けにきてくれました。おじいさんはかぶを5 Nで、おばあさんはおじいさんを4 Nで、孫はおばあさんを3 Nで水平方向北向きに力を加えました。それでもかぶは抜けません。この時、かぶに加わる力の大きさは何Nでしょう。

教科書 P13

(3) 絶体絶命の状況だ。突然A男の足元が崩れ、がけの下に落ちそうになった。B男がとっさにA男の腕をつかんだ。A男の体重は50 kgである。(質量100 gの物体にはたらく重力の大きさを1 Nとする)

① B男がA男の腕に400 Nの力を上向きに加えた。この時、A男の腕にはがけの上向き・下向きどちらにどれくらいの力がかかっているでしょう。

② ①の状況を見てまずいと判断したがけの上のC男はB男の体に200 Nの力を加え引っ張った。この時、A男の腕にはがけの上向き・下向きどちらにどれくらいの力がかかっているでしょう。

教科書 P19-21

(4) A子さんは自転車で通学している。A子さんの通学路には大きな坂道がある。登校時は上り坂で下校時は下り坂であるが、下り坂のほうが漕ぐのが楽なことに気付き、なぜだろうと疑問に思った。

このことについて、「重力」と「力の向き」に着目し、あなたの考えをまとめましょう。(必要であれば図やイラストを用いて)

2物体の運動

(1) 教科書P22, 23の「やってみよう」に挑戦しましょう。

教科書 P24-28

トに教科書を参考にしながら次の課題に取り組みましょう。

○全ての課題が終わった人は、文部科学省の子どもの学び応援コンテンツにある動画等を使って学習を進めましょう。

	<p>(2) 中学3年生のA男さんは新幹線のぞみで京都へ修学旅行に行く。</p> <p>① 東京駅を8:48に出発し、11:00に京都駅に到着した。新幹線の移動距離は476.3 kmであった。この時、一定の速さで走ったと考えると新幹線の速さは何km/hでしょう。</p> <p>② ①のように新幹線が一定の速さで走ったと考えた速さをなんというでしょう。</p> <p>③ 実際に新幹線の速度計に表示される数値は、停止しているときは0 km/h、もっとも速い時で300 km/hと変化する。このように絶えず変化する速さをなんというでしょう。</p> <p>教科書 P29-37</p> <p>(3) 物体が斜面を下る運動をするとき、時間とともに速さが一定の割合で大きくなる。同じ物体では、斜面の角度が大きいほど速さの変化の割合は大きい。もっとも大きくなる時は、斜面の角度が90°、真下に落下する自由落下運動の時である。</p> <p>落下する物体は徐々に速さが大きくなる。この考え方だと、雨水は地上に落ちるころには720 km/hにまでになる。新幹線の2倍、拳銃と同程度の速さだ。しかし現実にはここまで速さになることはない。その理由はなぜか、説明しましょう。</p> <p>教科書 P38-39</p> <p>(4) 「速報です。中学校の修学旅行で新幹線で東京駅から京都駅へ300 km/hで移動中、A男君がはしゃいで車内でジャンプし、新幹線から足が離れたところ、300 km/hの速さで後ろの壁に叩きつけられました。」というニュースは聞いたことがありません。</p> <p>新幹線から足が離れても置いていかれたり、壁に叩きつけられたりすることがないのはなぜか。説明しましょう</p>	
英語	<p>1 範囲 New Horizon English Course 3 4～13ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 各ページ左端の「語句」に出ている単語の品詞(名詞・動詞など言葉の種類)と日本語訳を教科書や辞書から見つけてノートに書き、それぞれ3～5回ずつ正しく書く。</p> <p>(2) 基本文をノートに書き写し、その右側の説明も書き写す。</p> <p>(3) 本文(英文)をノートに書き写す。</p> <p>(4) 本文の意味がわかるところには日本語を書く。意味がわからないところにはアンダーラインを引く。</p>	<p>◇予習の大切なポイントは「わからないところを見つけておくこと」です。授業が始まったら友だちや先生と確認できますから、安心してわからないところをたくさん見つけておいてください。</p>

この課題の他にも、eライブラリの学習にも取り組んでみましょう。